



「国旗損壊罪法」粉碎！「全国戦没者追悼式典」粉碎！

侵略戦争賛美の「靖国神社」解体！

8・15反「靖国」・反天皇闘争

8月15日（土）11：30 から集会 12：00 デモ出発

場所：牛込筆筈地域センター4 階バラ B（大江戸線牛込神楽坂駅から徒歩1分）

呼びかけ：反天皇・反「靖国」実行委員会

左写真：昨年の 8・15 反「靖国」・反天皇闘争
(2025/8/15)

右写真：4・29「昭和 100 年記念式典」粉碎闘争
(2026/4/29)

反天皇・反「靖国」実行委員会

連絡先 antitennnouantiyasukuni@gmail.com

地図上のピンアイコン
が集合場所です



今年の8月15日も政府主催で「全国戦没者追悼式典」が行われようとしています。この式典は「戦没者を追悼し平和を希求」という形ですが内実は戦没者の「英霊化」に他ならないものです。高市は沖縄「慰霊の日」の式典に出席した際も沖縄人民からの徹底弾劾の嵐でした。高市も出席するこのような式典を許すことはできません。

高市政府は沖縄のミサイル基地の新設や軍事要塞化を推し進め、改憲・戦争へと突き進んでいます。7月17日には多くの労働者人民の反対の声を押し切った形で「国旗損壊罪法案」が可決・成立しました。反天皇の闘いや差別主義・排外主義との闘いを潰して、まさに人民を「日の丸」「君が代」に忠誠を誓わせようとする攻撃です。成立直後から多くの弾劾の声が多く出ています。

さらに政府は、改正皇室典範で、男系男子による天皇制を永続化させようとしています。男尊女卑で血統維持、あらゆる差別の根源である天皇制を廃絶しよう。

いま、高市政権による戦争政策と参政党を始めとした右翼勢力が差別主義・排外主義を扇動する中で天皇制の攻撃が強まっています。その中で中国・朝鮮—アジア人民と対立させ、分断する攻撃にのみ込まれる状況も生まれています。天皇制を賛美し、戦争を賛美し差別・排外主義で人民を踏みつける「靖国神社」など私たち労働者人民の手で解体するほかありません。さらに今年は「昭和100年記念式典」なるものが開催されました。中国・朝鮮—アジアへの侵略戦争で大勢の人民を虐殺した天皇ヒロヒトの即位から100年を迎えることを「記念式典」でもって祝うという、まさに先の侵略戦争を肯定し天皇制を賛美する式典に他なりません。我々実行委員会と反天皇を闘う仲間達はこの許しがたい式典を粉碎すべく式典会場への実力デモを闘いました。警察機動隊や右翼の暴力的な弾圧や敵対を跳ね返し闘い抜いたのです。我々はこの「昭和100年記念式典」という侵略戦争賛美と天皇制賛美、排外主義の式典を木っ端微塵に粉碎し式典の狙いをズタズタにしました。この闘いを引きつぎ8月15日の反「靖国」・反天皇闘争を闘おう。

高市政権下で戦争に向けた動きが加速する中でそれを支える核心が天皇制です。「昭和天皇」ヒロヒトは降伏の進言を拒否して「もう一度戦果をあげてから」と沖縄戦を強制し、広島・長崎への原爆投下を強制した張本人です。侵略戦争への反省も一切なくヒロヒトは広島・長崎への原爆投下を「やむを得ない」と発言しています。ナルヒトは「歴代天皇のなさりようを心に留め」とヒロヒトの行いを賛美しています。そして天皇制を中核にした「挙国一致」体制構築が狙われています。

高市政権と米帝トランプ政権が中国への戦争策動を強化していく中で天皇と天皇制を全面に押し出して人民の戦争反対の声を天皇と「日の丸」「君が代」の下、押しつぶそうとしています。高市政権の戦争政策に抗する闘いには天皇制を打倒し廃絶する闘いが不可欠です。戦争に突き進む高市政権を打倒しよう。差別・排外主義を許さず、アジア—全世界労働者人民の闘いと結びついて闘おう。「国旗損壊罪法」制定を通した「日の丸」・「君が代」の強制、天皇制の強化—国民統合攻撃に抗い闘おう。自衛隊の「靖国神社」への集団参拝、閣僚・国会議員の参拝を許すな。

米帝によるイラン攻撃を許さず、イラン・パレスチナ、全世界労働者人民と連帯しよう。米帝に加担する高市政権を打倒しその頂点にある天皇制を打倒しよう。

8月15日、東京で厳戒態勢を打ち破り式典粉碎、「靖国神社」解体、天皇制打倒、戦争阻止のデモに立ち上がろう。